

りんご



放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペース

令和3年10月発行



～青森学習センター・八戸サテライトスペース学位記授与式と入学者のつどい～
(10月2日・10月3日撮影)



祝卒業・入学／学生生活応援号



- 2 | 巻頭言「こどもらしく」浅野 清 所長
- 3 | 学習相談とゼミのごあんない
- 4 | 2021年度第1学期学位記授与式、
学生表彰、卒業生のことば
- 6 | 2021年度第2学期入学者のつどい、
学生生活をスムーズに送るために
- 7 | 各種学生団体のごあんない
〈同窓会・学友会・ミステリーサークル・サイコロサークル〉
- 8 | 公開講演会レポート〈黒石市・青森市〉
- 9 | パソコン入門講習〈青森SC・八戸SS〉
- 10 | “Professional Report” 若生 豊 先生
青森SC&八戸SSトピックス
- 11 | 10・11・12・1月のスケジュール
- 12 | 事務室からのお知らせ



放送大学青森学習センターホームページ

巻頭言

-かんとうげん-

こどもらしく

青森学習センター所長 浅野 清



定年が近づいた頃、身の回りの整理を始めた。写真など、取るに足りないものはさっさと処分したが、それでも捨てられないものが数多く残った。その中の一枚に昨年亡くなった女優で福祉事業家の宮城まり子さんが写っている集合写真がある。

1963年、一か月にわたる新宿コマ劇場のお正月ミュージカル公演『そばかすマリ子の恋物語』の初日。物語は中国のとある村のシーンから始まり、サーカス団が宣伝のために竹馬に乗った3メートルもある大男や竜舞で村を練り歩く。それを追いかける子供たち。その10人ほどの子役の一人が私である。村のシーンは練習通りに進み、中盤、もう一つの出番、サーカス小屋の裏でサーカス団員の宮城まり子さんと『ドレミの歌』を歌うシーンになる。舞台上に並んだ私たちの顔を見て彼女の顔が一瞬曇ったように見えた。公演終了後、こどもらしくしてほしいので化粧はやめるよう、楽屋に伝言が入る。翌日から『ドレミの歌』を歌う時には化粧を落とすことになったが、舞台での化粧は当たり前と思っていた私には理解できなかった。手元にある集合写真は公演最終日に、劇場の回り舞台の下で撮ったものである。

指導教師の助言が呪縛となり、ピアノを弾くことが苦痛でピアノの前に座ることもできなくなった二十代初め、「こどもらしく」しなさいと言われたことを思い出し、この言葉を頭の中で繰り返していくうちに、自分というものが存在しないピアノ演奏をしようとしていたことに気付いた。化粧をして演じるこどもが「こどもらしく」ないと言われたことと同じように、助言に固められた演奏は自分の音楽ではない、と考えられるようになった。この呪縛から逃れるのに1年近くかかってしまった。

その後大人になった私の中で「こどもらしく」が「自分らしく」という言葉に変わり、人生の苦しい時期を乗り越える時のおまじないのようになっていった。寄り添ってくれた言葉を伝えてくれた宮城まり子さんの写真が私にはお守りのようなものになっていたに違いない。

浅野所長による
学習相談・ゼミ
ごあんない

相談分野 ▶ 音楽全般

相談日 ▶ 火～土曜（祝日を除く）

ゼミ ▶ 指定の水曜または土曜 10:30～12:00

『ベートーヴェンのピアノソナタ：作品と解釈 II』

※ゼミ開講日については、案内チラシをご覧ください。11～12月は水曜日に、その他は土曜日に開講いたします。

2021年度第2学期 学習相談とゼミのごあんない



青森学習センター

一條 健司 先生

弘前大学大学院理工学研究科
准教授

相談分野 ▶ 情報工学

相談日 ▶ 火曜 10:30~12:30

ゼミ ▶ 指定の火曜 11:00~12:00

『コンピュータ科学入門』



成田 拓未 先生

弘前大学農学生命科学部
准教授

相談分野 ▶ 農業経済学

相談日 ▶ 水曜 9:50~11:50

ゼミ ▶ 指定の水曜 10:10~11:10

『食と農の貿易ルール』



戸塚 学 先生

弘前大学教育学部
教授

相談分野 ▶ 健康科学

相談日 ▶ 木曜 12:00~14:00

ゼミ ▶ 指定の木曜 12:30~13:30

『健康科学の理論と実際』



尾崎 名津子 先生

弘前大学人文社会科学部
准教授

相談分野 ▶ 日本近現代文学

相談日 ▶ 金曜 10:00~12:00

ゼミ ▶ 指定の金曜 11:00~12:00

『日本近代文学と上海』



藤田 あけみ 先生

弘前大学大学院保健学研究科
教授

相談分野 ▶ 看護学

相談日 ▶ 金曜 13:00~15:00

ゼミ ▶ 指定の金曜 13:00~14:00

『看護学』



平岡 恭一 先生

弘前医療福祉大学短期大学部救急救命学
学科長・教授

相談分野 ▶ 実験心理学

相談日 ▶ 指定の金曜 16:00~18:00

ゼミ ▶ 指定の金曜 16:00~17:00

『行動心理学とリハビリテーション』



八戸サテライトスペース

若生 豊 先生

八戸工業大学
名誉教授

相談分野 ▶ 応用生物化学・環境科学

相談日 ▶ 火曜 14:00~16:00

ゼミ ▶ 指定の火曜 14:30~15:30

『21世紀の課題と生命科学の使命』



山本 雄大 先生

八戸学院大学健康医療学部
准教授

相談分野 ▶ 社会心理学

相談日 ▶ 金曜 14:00~16:00

ゼミ ▶ 指定の金曜 15:00~16:00

『社会的行動とその心理』



● 案内チラシや各ゼミのシラバスを、青森学習センター・八戸サテライトスペースで配布しているほか、青森学習センターホームページでも公開しております。● ゼミは学期途中からも参加できます。単位にはなりません。● 事務室窓口または電話にて申込みを受付けます。①氏名、②連絡先、③ゼミ名または相談日をお知らせください。● ゼミの日程は、都合により変更・中止となる場合があります。センター内掲示板やセンターホームページを確認できない場合は、お電話にてお問い合わせください。また、不測の事態発生の際には、ゼミ・学習相談をオンライン会議形式（Zoom等）へ変更する場合があります。



2021年度第1学期学位記授与式

2021年度第1学期学位記授与式が、10月2日（土）青森学習センター、10月3日（日）八戸サテライトスペースにて行われました。今回、教養学部卒業を迎えた学生方は、青森SC・八戸SSをあわせて36名。式当日は出席者ひとりひとりに浅野所長から学位記が授与されました。卒業生の皆様、このたびはおめでとうございます！！



青森学習センター



八戸サテライトスペース

2021年度第1学期〈教養学部〉卒業生の内訳（青森SC計24名・八戸SS計12名）

- 青森SC 生活と福祉…7名／心理と教育…7名／人間と文化…3名／情報…3名／自然と環境…2名／社会と産業…2名
- 八戸SS 生活と福祉…3名／心理と教育…6名／人間と文化…2名／情報…1名

学位記授与式 スナップ集



第10回 放送大学青森学習センター学生表彰



青森学習センター・八戸サテライトスペース所属学生の生涯学習に対する奨励を目的として、平成26年度より「放送大学青森学習センター学生表彰」を行っています。

今回は、青森学習センターの卒業生1名と八戸サテライトスペースの卒業生2名が受賞者となり、長年にわたり学業に励んだ功績を称え、所長から表彰状と記念品が授与されました。

このたびはおめでとうございます。今後も飽くなき向学心で学業に励んでください！！

卒業生のことば



「時間の使い方は人それぞれ」

青森学習センター 心理と教育コース 物江 尚子

私が放送大学に入学した頃は、コロナウイルスの存在さえ知りませんでした。学び始めて3年目、仕事と学びの両立に悩んでいると、コロナウイルスで世の中が激変しました。コロナウイルス感染症の広まりと共に、新しい生活様式が取り入れられ、時間、場所、仲間が限定されるようになりました。これから、私はどうなるんだろうと不安に思う日々を過ごしたのを覚えています。新しい生活様式の中で、時間をどう使うかは人それぞれです。私は自分の将来の為の資格取得を本気で目指す事にしました。放送大学は、インターネット環境さえ整えば家や職場などで続けていくことができます。親身に相談にのってくれた職員の皆さんと家族、勤務の調整をしてくれた職場の皆さんに感謝しています。



「学びは闘い!？」

八戸サテライトスペース 人間と文化コース 石山 正人

2人の子供たちも成長し、大学へ進学・卒業する中で、若い頃に諦めていた大学進学への希望が自分の中にわき上がってきました。背中を押してくれたのは職場に置いてあった放送大学のパンフレットでした。卒業までの7年半、印刷教材を開くと襲ってくる睡魔との闘いに苦戦しながらも何とか勝利をつかみ取ることができました。今後も「知りたい」という強い気持ちを忘れず睡魔に挑み続けます。



「多くの学びを得ることができました」

青森学習センター 心理と教育コース 前田 佳彦

この度、心理と教育コースを卒業させていただくことになりました。目標であった認定心理士に必要な単位を取得でき、その他にも多くの学習・経験をさせていただきました。また、サークル活動や行事などで学友の皆様と交流させていただき、充実した大学生活を送ることができました。いつでも、どこでも、好きな時間に学ぶことができるのが放送大学の良いところだと思っています。これからも無理をせず、少しずつ教養を深めて行けたらと思っています。

最後になりますが、青森学習センター所長をはじめ、職員の皆様、講師の先生方、学友の皆様のおかげで卒業することができました。ありがとうございました。



「3度目の正直を誓う」

青森学習センター 人間と文化コース 三上 陽子

今回が2度目の卒業となります。ですが、他のことに気持ちが向いたりするなど、真面目な学生生活からはかけ離れた日々だったと思うときもあります。

それでも、学ぶことは楽しく、もっと色々なことを学びたいと継続入学の申し込みをしました。この文章が載る頃には、無事に手続きを終え、3度目の学生生活に入ってるはずなので、2度目の反省点を3度目の学生生活に生かしていきます。



2021年度第2学期入学者のつどい

10月2日（土）と10月3日（日）の両日、青森学習センターと八戸サテライトスペースにて「2021年度第2学期入学者のつどい」が行われました。

放送大学学歌演奏や学長挨拶のDVD上映、センター所長式辞、入学生と在学生代表の挨拶、学友会会長祝辞、教職員紹介のほか、オリエンテーションや施設見学などを行いました。



(上) 入学生の挨拶
(左下) 所長式辞
(右下) 在学生の挨拶

10/2（土） 青森SC



(上) 入学生の挨拶
(左下) 在学生の挨拶
(右下) 客員教員の紹介

10/3（日） 八戸SS



全学生必見！ 学生生活をスムーズに送るために

新学期を迎え、これから放送大学での学習を始める入学生・在在学生の方へのお知らせです。

■ 活用しよう「学生生活の栞」と「利用の手引き」

「学生生活の栞」と「利用の手引き」は、履修に関するきまりや、各種届出様式など、学生生活を送るうえで重要な事項が満載の冊子です。大切に保管のうえ、よく読んでご活用ください。



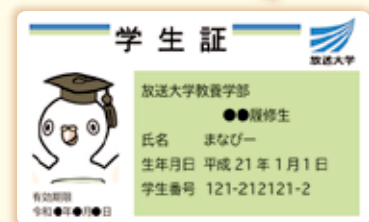
■ システム WAKABA のパスワード変更はお早めに

システム WAKABA に初期パスワードでログインし、ホーム画面左側にある「パスワード変更」で、初期パスワードから変更をしていただくようお願いいたします。ログインできない場合は、お問合せください。

■ 学生証の受取

学生証は、図書室・視聴学習室の利用や面接授業の追加登録申請、単位認定試験を受験する際（自宅受験を除く）に使用します。

青森学習センター・八戸サテライトスペースの事務室窓口で交付いたします。新規入学・継続入学生は入学許可書を、在在学生で学生証の有効期限切れの方は有効期限切れ学生証を窓口へご持参ください。郵送を希望する方はお問合せください。なお、顔写真を登録していない場合は発行ができませんので、システム WAKABA の「学生カルテ」または「学生生活の栞」巻末様式の「写真票」使用にて速やかに登録してください。



■ 学生教育研究災害傷害保険〈学研災〉への申込み ※任意

教育活動中や通学中における事故補償のための保険です。放送大学は通信教育に区分されており、保険料は1000円、通学中の特約を含む場合は1400円となります。保険期間は、入学後から学籍が続く限り最大6年間となります。ただし、加入日にかかわらず、4月入学生の保険終期は3月31日に、10月入学生の保険終期は9月30日になりますのでご留意ください。

詳細につきましては、入学生の方は先に送付の『「学研災」のご案内』にてご確認ください。

学生生活をもっと楽しく！各種学生団体のごあんない

★入会ご希望の方は、青森学習センターまたは八戸サテライトスペースへお問い合わせください。

★学生団体の設立について

学生が研究やスポーツなどのため、サークル・学生団体などを結成しようとするときには、学生（科目履修生・修士科目生以外）の中から責任者を定め、「学生団体設立願」等を4月または10月に責任者が所属する学習センターへ提出し、設立の許可を受ける必要があります（「学生生活の栞」教養学部版 P120参照）。詳細については、青森学習センター事務室へお問い合わせください。



青森同窓会

「同窓会への参加お待ちしております！」

青森同窓会会長 関川 宏明



今年度は、昨年新型コロナウイルス感染拡大防止の点から、書面での開催とした定例総会を、感染対策に留意しながら1年ぶりに5月に八戸市で開催しました。今年度も、感染拡大防止の点から活動は限定的なものとなっております。

コロナ渦の中でどのような形で交流の場を設定できるか模索中ですが、同窓生と在学生とが交流を深めることのできる行事をいくつか計画しており、状況を踏まえながら年度末までに可能な限り実施できればと考えております。また、例年開催しております卒業生・修了生を囲む祝賀会も予定しております。

毎回の行事では、卒業生・修了生のみならず、在学生や学習センターの方々からのご参加もいただき、大変充実した場となっております。

卒業生・修了生の皆さま、放送大学での学びを通して得た経験を、今後学びを始める学生に伝えるため、同窓会への参加を心よりお待ちしております。



学友会

「学友会を、情報交換の場としませんか!!」

学友会会長 田澤 豊



学生間の繋がりが希薄なのが放送大学です。学友会に参加し、情報・学習方法の交換・息抜き方法を自分なりに見つけませんか。

例年であれば、春は、弘前城で「観桜会」、秋は「そば打ち」などを開催し、会員相互の親睦と情報交換を行っております。令和2年度からは、残念ですが、コロナの影響で活動が休止状態です。今後は、状況を勘案しながらコロナ対策を万全にしながら活動を再開していこうと考えております。

今の時代は、人と人のコミュニケーションの取り方が、多種多様になって来ています。基本は、直接「顔と顔を合わせ話す事」ではないでしょうか。

是非、学友会への参加をお願いします。申込受付はセンター事務室にお願いしております。



ミステリーサークル

「ミステリーサークル・会員募集中！」

ミステリーサークル総長 上野 光弘



ミステリーサークルは、学生相互の研鑽、親睦と交流を目的に活動しています。会費は無料です。学習相談も実施しております。

入会したい方は、サテライト事務までご連絡下さい。写真のようなパフォーマンスは、3回位の参加でできるようになります。

一番暗いのは夜明け前です。

コロナが終息した際には、失われていた「人とのつながり」を再び感じ取ることができるよう、文化祭を企画したいと考えております。

アカデミックカフェやマジックショー、こだわりのコーヒーなどを計画しております。

文化祭に展示したい写真や絵画、趣味で作成している発表したいものなどありましたら、ご連絡ください。



サイコロサークル

「サイコロサークル会員募集中」



平岡先生のご厚意で、「リハビリテーションのための行動分析学入門（河合伊六監修）」で基礎中の基礎を勉強しています。行動分析の基礎って動機づけとイメージが重なることがあります。先生も察してか、遠回り

りかもしれませんが、行動分析から離れて動機づけの心理学の勉強を始めました。動機づけの基礎に始まり新しい研究の自己決定理論までを分かりやすく説明していただきました。内容は専門的ですが、先生の丁寧な説明で理解が進み面白さが増してきます。皆さんもノリノリです。仕上げとして、実例を使って理解を定着させます。例えば、「新しいラーメン店ができたときに入ってみたくなる。」「信号機が赤表示で渡らない。」などはどのような動機付けかを自己決定理論で説明します。この日は、意見や質問が多数あったためここまでとなりましたが、充実した勉強会で心地よい疲れを感じました。ビールが美味しいぞ！

7/21
(水)

「音楽の力で 心も体もリフレッシュ」

講師：佐々木 純子 氏 (NPO 法人青森音楽療法研究会理事長)
伴奏者：逢坂 紗織 氏 (NPO 法人青森音楽療法研究会)

会場：黒石市産業会館

講演会は座ったまま行えるストレッチ体操から始まりました。音楽に合わせて左右の手を交互に開いて前へ出しその時もう一方は手を閉じる、というもの。これはスムーズにできますが、逆に手を閉じて前へ出してもう一方は開く、となると巧くいきません。先生の「巧くいかないときは笑いましょう」の言葉に救われながら本題に入りました。

音楽療法には受動的と参加型があること、医療・保険・福祉・教育など様々な分野で音や音楽をより効果的・計画的に利用しているのが音楽療法士であると定義付けた上、療法で扱う音や音楽・楽器の効果である種々のアプローチについて説明。そして最後に各自楽器を使いながら「見上げてごらん夜の星を」と「夕焼け小焼け」を小さい声で合唱して終わりました。



8/25
(水)

「私文学への系譜を辿る ～葛西善蔵、太宰治、そして寺山修司へ～」

講師：鎌田 紳爾 氏 (弘前学院大学客員准教授) 会場：青森市男女共同参画プラザカダール



津軽出身の3人の文学者がどういう生涯を送ったか、生き様と作品との関連性を友人たちの証言や講師自身の体験などを交えて指摘していきました。「自らの人生と心情を真率に描いた」葛西善蔵、「自らの人生の出来事や心情をモチーフに描いた」太宰治、「自らの境涯を虚構化して描いた」寺山修司、など3人の特徴をそれぞれキーワードとして説明し、今後の読書に新たな見方を与えてくれました。



* 9/4(土)開催を予定していた「近世の廻船～“北前船”をめぐる諸問題と盛岡藩領における廻船の建造動向～」は中止となりました。

これからの公開講演会ごあんない

11月14日(日) 13:00～15:00

「弘前と世界をつなぐ音楽の“絆”
～マリンバと打楽器アンサンブルに魅せられて～」



講師 ● 肥田野 恵里 氏 (パーカッション・グループ〈ファルサ〉代表)
演奏 ● 【マリンバ】肥田野 恵里
【ピアノ】浅野 清
【打楽器】パーカッション・グループ〈ファルサ〉

会場 ● 弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール
申込 ● 青森学習センター

11月20日(土) 13:30～15:00

「生活習慣病予防と健康増進に向けて
～計る、知る、変わる～」

講師 ● 和田 啓二 氏 (弘前大学 COI 研究推進機構 社会実装副統括)
会場 ● つがる市立図書館 セミナー・学習室
申込 ● つがる市立図書館



開催報告

パソコン入門講習

～ワードでチラシを作ってみよう!～

講師 一條 健司 氏

(弘前大学大学院理工学研究科准教授・
放送大学青森学習センター客員教員)



青森学習センターと八戸サテライトスペースでは、昨年度から「パソコン入門講習」を開催しています。

今回は9/11(土)と9/12(日)に開催し、文書作成ソフトウェア“Microsoft Word”を使用して、チラシ作りをしながら、パソコン操作に慣れ親しんでいただきました。その様子を参加者の感想と写真でご紹介いたします。

参加者の感想

「とてもわかりやすく教えていただき、おぼえやすかったです。ありがとうございました。」



「今回、幸運にも2回目のパソコン入門講習(ワードによるチラシ作成)に参加させて頂いて、ありがとうございました。一條先生はじめ、2名の学生さんの懇切丁寧なサポートにより、日常疑問に思っていた内容が解消され、スッキリ致しました。

早速、学んだ知識でシルバーウィークの家族トレッキングチラシ作成を致しました。思いのほか家族に好評で、コミュニケーションの強化に繋がりました。

現代は、生まれた時からスマホ、タブレット、PC等に囲まれています。デジタル機器のリテラシー(ハード、ソフト)を持つことは、より良いワークライフバランスを送るための、一手段となるのではないかと思います。」

「パソコン入門講習は、人生初めての経験でした。今まで自己流で文書作成していましたが、今回の受講で、チラシの作成作業を通して便利なワード機能を知ることができました。今後、文書作成の時間短縮にもつながりそうです。ありがとうございました。」

「2月に続いての講習でした。アシストして頂きながらの3時間でした。明日、テキストを見ながら、もう一度作成して下さい、と言われたら……。まだまだ道半ばです。トホホ……。」

「PCは余り好きではありません。便利なようでふりまわされている感があるのです。でも、前回と今回2回参加してわからないところにぶつかると、すぐ助けて下さり、自分の“手ポケ”に笑いながら楽しく学べました。次回も参加すれば少しは今時のものに追いつけるかも、です。」

「ワードは文章のみ入力して使用していました。今回の講習に参加して、文章入力の仕方について、便利な方法、図形や画像のレイアウトや挿入方法があることを知り、自分でチラシ作成が出来るようになれば活動範囲が広がると思います。挑戦してみます。」

「親切丁寧にありがとう御座居ました。『マスク』の着用在が……。」



「今まで『適当に動かしている』だけでしたが、この研修のお陰で各機能の練習を通して、少しは理解できるようになったと思います。でも、研修の後半部分は今後復習を何度かすることで、もう少し上手に使えるようになりたいと思います。」

次回のパソコン入門講習は……



～エクセル入門!～

2022年

2月19日(土) 青森学習センター

2月20日(日) 八戸サテライトスペース

※詳細は後日ご案内いたします。

Professional Report

「21世紀の課題と生命科学の使命」

客員教員 若生 豊 (八戸工業大学名誉教授)

2 学期のゼミでは 21 世紀の重要な課題として「パンデミック」「脱炭素」「遺伝子工学」「高齢化」を取り上げ、それらに関わる生命科学の到達点と課題について考察します。生命科学の進歩は著しいものがありますが、パンデミックに対しては残念ながら今のところ 100 年前と大差の無い状況です。しかし、人類は感染症も含め直面する諸課題を、科学を頼りに克服して行かざるを得ません。コロナ感染では重症肺炎を回避できれば大きな解決となりますが、効果的な治療薬は未だありません。炎症は生体防御反応である一方、制御を逸脱した炎症は自らの臓器を傷害し、感染症や自己免疫疾患のみならず、加齢とともに増加する、がん・動脈硬化・肥満・アルツハイマー病などの種々の疾患、さらには老化そのものの根底的な要因として重視されるようになりました。4 月に 3 番目の新型コロナウイルス治療薬(抗 IL-6 抗炎症薬)が承認されましたが、その効果は限定的であり、炎症の克服は未だ道半ばです。4 月菅総理は 2030 年の温室効果ガス排出削減目標を 2013 年度比 46%と上方修正しました。2050 年の排出実質ゼロは、従来の方策のみでは達成は不可能で、環境イノベーションの成否に掛かっています。生命は各種反応を高効率で進行させる精巧なシステムを秘めており、遺伝子をはじめ、酵素などが担う情報認識や触媒能力を利用した技術は、医療・環境・物質生産など様々な分野で役立てられています。2018 年のノーベル化学賞は、これらの能力を高める進化分子工学に功績のあった 3 研究者に贈られ、この分野がバイオ燃料や新薬開発など今日の課題解決に大きく貢献することが期待されています。また、カリフォルニア大は生物の光合成を模倣した触媒により、夢の技術とされる太陽光を用い CO₂ を燃料へ変える実験に成功しました。ゼミでは体験(組換え作物鑑別等)なども組み入れ、課題解決に対する生命科学の使命を考察します。

● 青森 SC & 八戸 SS トピックス ●

芸術の秋 学生鑑賞支援プロジェクト

supported by 青南商事

8/1 より、弘前市内 5 大学の学生を対象に
弘前れんが倉庫美術館 (弘前市吉野町)

の観覧料が無料となっています。
放送大学学生(青森・八戸所属)も対象です。

- ◆ 2022年3月末まで(定員に達し次第終了)
- ◆ 先着 1,000名
- ◆ 入館時に学生証の提示が必要です

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては予定が変更になる場合があります。

青森学習センターが

ひろさき健やか企業と 弘前市女性活躍推進企業

に認定され、6/3に弘前市役所で認定証授与式が行われました。



10月・11月・12月・1月のスケジュール

閉所日
 面接授業
 試験
 通信指導提出締切

10月	月	火	水	木	金	土	日
						1	2
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

11月	月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5	6
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					

12月	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3	4
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

1月	月	火	水	木	金	土	日
							1
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

10月	
2日(土)	2021年度第1学期学位記授与式・ 2021年度第2学期入学者のつどい(青森)
3日(日)	2021年度第1学期学位記授与式・ 2021年度第2学期入学者のつどい(八戸)
15日(金)	2021年度第2学期面接授業 【12時】空席発表・追加登録事前申請受付開始《～10/20》
21日(木)	2021年度第2学期面接授業 追加登録先着申請受付開始《～各科目の受付期限日》
25日(月)	教員免許更新講習【冬期】15時受付開始《～11/22 朝9時》

面接授業	
16～17日	「日常生活のための国内法と国際法」(青森)
23～24日	「改訂・問題解決の進め方」(八戸)
30～31日	「超高齢社会と地域包括ケア」(八戸)

11月	
9日(火)	2021年度第2学期通信指導提出受付開始【Web】
16日(火)	2021年度第2学期通信指導提出受付開始【郵送】
22日(月)	教員免許更新講習【冬期】受付締切《朝9時まで》
24日(水)	単位認定試験受験センター変更願提出締切《郵送本部必着》
26日(金)	2022年度第1学期出願受付開始(Web・郵送) 《～3/15 教養学部、大学院修士選科生・修士科目生》
30日(火)	2021年度第2学期通信指導提出締切 《郵送必着 / Web は17時まで》 単位認定試験受験センター変更申請締切《Web は24時まで》

面接授業	
6～7日	「ストレスの心理学」(青森) 「立憲主義 - 憲法は変えられないか」(八戸) ※日程変更
13～14日	「最新の成果から迫る青森県史2」(青森)
20～21日	「家族の機能と役割」(青森)
27～28日	「がん、がんによる死を防ぐために」(青森) 「上京、Uターン、観光の人類学」(青森) 「是川遺跡の縄文考古学」(八戸)

12月	
4～5日	「心理学実験1」(青森) 「社会的影響の心理学」(八戸)
11～12日	「日本近代文学と映像文化」(青森) 「岩木山をめぐる自然と生活」(青森) 「寒さと生きる微生物」(八戸)
18～19日	「光と私たちの日常生活」(青森) 「道具とデザイン」(八戸)

1月	
4日(火)	臨時閉所日 ※青森・八戸
14日(金)～21日(金)	2021年度第2学期単位認定試験(自宅受験)
8～9日	「中国語初級」(青森) / 「自然災害と建築」(八戸)

★年末年始の閉所★

12月27日(月)～1月4日(火)

★自動車入構規制のお知らせ★

1月15日(土)～16日(日)

弘前大学で大学入学共通テスト実施のため、自動車での入構は一切できません。青森学習センターへお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。また、入構時には学生証の提示を求められる場合がありますので、必ずお持ちください。

重要

- ◆不測の事態により対面の面接授業が開講できない場合は、科目によって、Web授業による実施または閉講のいずれかへ変更となります。詳しくはシラバス等をご確認ください。
- ◆2021年度第2学期の単位認定試験は、1月14日～21日に、自宅受験にて実施いたします。大学院と教養学部いずれも同様の日程となりますので、実施期間内に自宅等で各自受験してください。



事務室からのお知らせ



通信指導を提出しましょう (詳細「学生生活の栞」教養学部版P67、大学院版P64参照)

通信指導を提出し、合格して初めて単位認定試験の受験資格が得られます。未提出あるいは提出期限までに到着しなかった場合は評価の対象とはならず、単位認定試験が受けられませんので、余裕を持って提出してください。11/4までに通信指導問題が届かない場合は、大学本部(総合受付 TEL:043-276-5111)に連絡してください。

【提出期間】

- ★「Web通信指導」の場合 …11/9(火) 10:00～11/30(火) 17:00
- ★郵送の場合 …11/16(火)～11/30(火) **大学本部必着**



受験センター変更をご希望の方へ (詳細「学生生活の栞」教養学部版P71、大学院版P69参照)

2021年度第2学期の単位認定試験は【自宅受験】となりますが、受験者からのご要望については「受験学習センター」で対応いたします。転勤・転居等、やむを得ない事情で居住地が変更となった方で、**受験学習センターの変更をご希望の方は、下記の方法で必ず受付期間内に手続きをしてください。なお、住所変更手続きだけでは、受験学習センターの変更はできません。**

【手続き方法と受付期間】

- ★システム WAKABA での手続 …10/1(金) 9:00～11/30(火) 24:00
- ★郵送での手続 …10/1(金)～11/24(水) **必着** 『単位認定試験受験センター変更願(「学生生活の栞」巻末様式)』を〒261-8586千葉市美浜区若葉2-11 放送大学学生課単位認定試験係へ提出

各種証明書の発行について ※「学生生活の栞」または「利用の手引き」にて詳細を必読のうえ申請してください。

証明書の発行を希望の際は、「学生生活の栞」巻末様式の『諸証明書交付願』に所要事項を記入のうえ、発行手数料(1通につき200円)を添えてお申込みください。



郵送での申込方法

- ①『諸証明書交付願』
- ②返信用封筒(長形3号、切手貼付、宛名明記)
- ③発行手数料(郵便定額小為替証書)を青森学習センターへお送りください(現金送付の場合は現金書留をご利用ください)。また、証明書の数や種類によって重量が変動しますので、返信用封筒に貼付ける切手は94円以上をお勧めします。証明書の種類によっては発行まで2週間程度を要する場合があります。

窓口でのお支払いの際のお願い

つり銭の用意が無い場合、細かい紙幣、小銭をご準備いただくか、事前に支払額のわかる場合は丁度の金額をお持ちください。ご協力をお願い申し上げます。

再視聴施設をご利用ください

学習センターやサテライトスペースのほかにも、放送授業を再視聴できる施設を設けています。青森県内には、青森市の青森市民図書館内「青森学習センターあおもり校」、むつ市のむつ市立図書館内「青森学習センターむつ校」があります。お近くにお住まいの方は是非ご利用ください。ご利用の際には、**学生証**をご持参いただき、各図書館の利用案内に従ってください。

2022年度第1学期 入学生募集

教養学部生、大学院修士選科・科目生大募集!

ご友人、ご家族・ご親戚、ご同僚など、皆様の周りに「学び」に関心のある方がおられましたら、この機会にぜひ放送大学をご紹介ください。

口コミでどんどん学友の輪を広げましょう。もしかしたら、身近なあの方が4月にはともに学ぶ仲間になっているかも…?もちろん、継続入学生も大歓迎です!

【出願期間】11/26(金)～3/15(火) **私書箱必着**

募集要項は、事務室窓口またはお電話、放送大学ホームページからも請求できます。体験学習・入学相談を随時承っておりますので、お気軽に学習センターまたはサテライトスペースにお問い合わせください。

青森学習センター

〒036-8561 青森県弘前市文京町3 コラボ弘大7階

TEL:0172-38-0500 FAX:0172-38-1299 Twitter:@aomoricenter

八戸サテライトスペース

〒039-1102 青森県八戸市一番町1-9-22 ユートリー4階

TEL:0178-70-1663 FAX:0178-70-1667

青森学習センターむつ校

〒035-0073 青森県むつ市中央2-3-10 むつ市立図書館内

TEL:0175-28-3500 FAX:0175-28-3400(※視聴・貸出のみ対応)

青森学習センターあおもり校

〒030-0801 青森県青森市新町1-3-7 青森市民図書館内(アウガ8階)

TEL:017-776-2455 FAX:017-776-2400(※視聴・貸出のみ対応)

放送大学ホームページ <https://www.ouj.ac.jp/>

青森学習センターホームページ <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/aomori/>

